わたしたちのJA新旭町

協同組合について

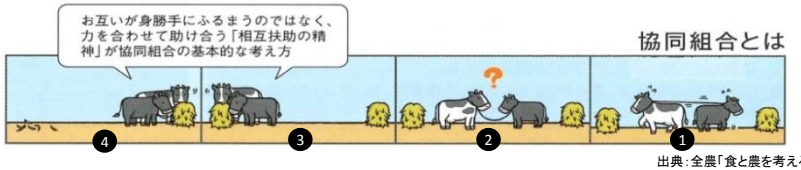
「一人はみんなのために、みんなは一人のために」

組合員の生活を守り向上させるという目的をもって、共同活動を実現していくためにつくられているのが協同組合です。

そこでは、みんなが知恵を出し合いながら自分たちの暮らしをより豊かにし、より良い社会を築いていくためにさまざまな事業活動が展開されています。

事業といっても、通常の株式会社や企業とは運営のしくみが違います。自分たちが出資金を出し合い、自ら事業を利用し、運営にも参画していくことが大きな特徴です。

あくまで、協同組合の主役は組合員自身です。



出典：全農「食と農を考える」

一人ひとりがくらしを支え合う

JA新旭町では、農業者である正組合員と准組合員の方が現在、3,347名おられ、准組合員の方はAコープや給油所などの購買事業や信用・共済事業などを中心にご利用頂いています。こうした組合員の皆様のご利用により、JAの事業規模が拡大して経営が安定することで、農業関連事業の展開や地域に必要な生活サービスの維持が可能となっています。

組合員一人ひとりが**「JAの事業を通じて地域の農業とくらしを支えあっている」**と言えます。

JAの総合事業

JAはみなさんの営農やくらしのあらゆる面に役立てていただけるよう、以下のような事業を行っています。

農業関連事業

農産物の栽培などの営農指導事業や、農産物の販売事業。肥料や農機具の供給等を行う生産購買事業。農地や農作業をサポートする事業。

総合事業

信用事業

貯金、農業融資、住宅ローンなど、農業やくらしに関する金融。

生活関連事業

Aコープ、農産物直売所、ガソリンスタンド、自動車、葬祭事業などくらしに関する事業。

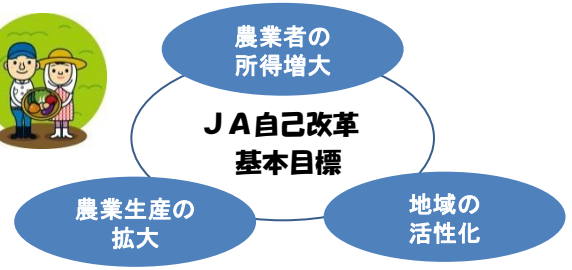
共済事業

生命、建物、自動車共済など、農業やくらしに関する共済。

ＪＡは、様々な事業を総合的に実施し、組合員の皆さまに便利で多彩なサービスを提供することを通じて、地域農業の振興や地域づくりに努めています。

JAの自己改革の取組み

JAグループでは、以下の3つの基本目標を掲げ、地域農業の振興や地域づくりに向けた自己改革に取り組んでいます。



ヤフーショッピングサイトに「ＪＡ新旭町店」を開設し、お米の販売を行っています。

ＪＡ新旭町では

米の概算金価格アップ

・平成29年産米については、販売先と有利な条件での交渉を進め、コシヒカリの概算金は28年産米より、1俵1,000円程度増額しました。また、平成30年産米はさらに1俵500円増額させて頂き、農家所得増大に取組みました。

営業活動の強化

・平成29年産コシヒカリ・秋の詩の販売にあたっては、農家所得増大を優先に考え、販売先は全農以外に、商系実需者に対して積極的な営業活動を行っています。

（県内JAの平均直販比率は24%ですが、当JAは約40%となっています。）

生産資材価格引き下げ

・水稲生産資材である肥料価格を銘柄集約により20～40%程度削減する他、超大型規格農薬を提案し、農家の負担を軽減しました。

健康増進活動の支援

・組合員や地域住民の方にＪＡドック健診等による健康診断を実施する他、グラウンドゴルフ大会やお笑いイベントの開催により、健康増進活動に取り組みました。

くらし支援への取組み

・Ａコープでは、「くらしのサポート」会員を募り、買物弱者支援を実施し、買物の宅配サービスを行っています。

農業生産拡大に向けて

・農業用資金ニーズに対応するため、実質金利　年0.1%の「農業者資金応援キャンペーン」を実施しています。

交通事故削減への取組み

・組合員や地域住民の交通事故削減に向けた取り組みとして、「ドライブレコーダー」購入助成を行う他、子ども向けの交通安全教室等を行いました。

地元農産物の販売強化

・直売所の農産物消費拡大と農家の所得向上の為、「直売所JAカード決済5%割引きキャンペーン」を実施しています。

しんあさひ農業小学校

・地域の子ども達に「しんあさひ農業小学校」を開校し、食農教育活動を行っています。

新旭町農業協同組合